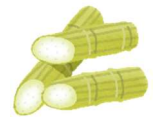




徳之島事務所農業普及課だより

◎発行元：大島支庁徳之島事務所 農業普及課
◎住所：徳之島町亀津7216 ◎TEL：0997-82-0323



きゅうがめらアグリ情報

さとうきびの雑草対策について

さとうきび畑を巡回すると、雑草が多く、きびの葉が黄色くなっている畑を見かけます。



雑草の発生が多い畑では、

- ① 雑草が養分と水分を吸収し、光を遮ることで、さとうきびの分けつや茎の伸長を抑制する
- ② 病害虫の発生源（イネ科雑草はイネヨトウの生息場所）となり、単収が低下する
- ③ ハーベスタ収穫作業に支障がでるなどが起こります。

雑草防除の基本は、化学的防除（除草剤）と耕種的防除（深耕と中耕・培土）を体系的に行うことです。植付け（株出し）直後～1ヶ月後までに、1回目の除草剤散布を行いましょう。

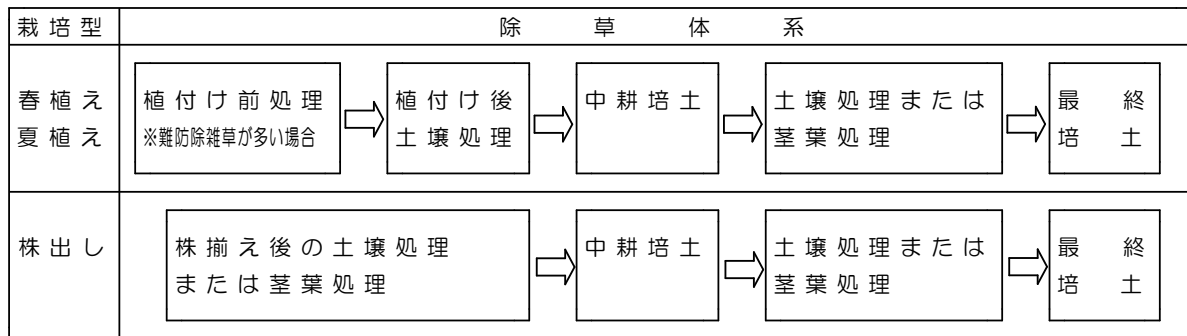


図 さとうきび畑の基本的な防除体系

○土壌処理剤（カーメックスD、カーメックス顆粒水和剤、センコル水和剤）

植付け後、雑草発生前に畑全面に土壌処理剤を散布する。株出しでは、株揃え後こうね上（株上）に速やかに散布する。雑草の発生を40～60日程度抑制することができる。

○茎葉処理剤（アーシラン液剤、2, 4-Dアミン塩、センコル水和剤、シャドー水和剤）

雑草の発生初期に、茎葉に散布する。それぞれの除草剤で、使用時期が異なるので散布時期に注意。

○ギニアグラス（通称ガットン）対策について

株出栽培での防除が難しいので、新植時に体系的な防除を徹底する。出穂し、種子が飛散すると被害が拡大するため、出穂前に畑内だけでなく畑周辺も含めた対策を行う。

- ① 植付け前の深耕・丁寧な耕うん
- ② 雑草発生前の土壌処理
- ③ 早めの中耕・培土
- ④ 雑草発生初期の茎葉処理